

平成 17 年度
事業 報 告 書



平成 18 年 8 月

鹿児島県水産技術開発センター

指宿市岩本字高田上160-10

は し が き

本県の水産業を取り巻く環境は、漁業資源の減少傾向や魚価の低迷、漁業就業者の減少・高齢化など、依然として厳しい状況にあります。

県におきましては、平成22年度を目標にした「21世紀新かごしま総合計画」に基づき、活力と魅力に満ちた水産業の振興を図るため、各般の施策を展開しているところであり、当センターにおきましては、「明日を拓く新技術の開発」として、水産資源の持続的利用や食の安心・安全に関する調査研究等に取り組んでいるところであります。

平成17年度は、センターに再編・統合してから2年目にあたり、カンパチ、モクスガ二等の種苗生産技術や、漁業情報の迅速な提供など、新しい施設機能を生かした成果がみられてきました。

ここに、水産技術開発センターが平成17年度に実施した試験研究等の結果を「事業報告書」として取りまとめましたので、参考にさせていただければ幸いです。

今後とも、多様化・高度化するニーズに的確に対応しながら、計画的で効果的な試験研究に取り組むこととしておりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。

平成 1 8 年 8 月

鹿児島県水産技術開発センター
所 長 古 賀 吾 一

目 次

【 庶 務 一 般 】

事務機構及び職種別人員	1
職員の職・氏名	2
平成17年度事業一覧	4

【 企 画 研 修 部 】

試験研究企画調整事業	5
漁業情報提供事業	6
漁業研修推進事業	7

【 資 源 管 理 部 】

漁海況情報収集事業・漁海況情報提供事業	8
200カイリ水域内漁業資源総合調査(資源評価調査委託事業)	9
魚群調査 - (ピンナガ魚群調査)	10
魚群調査 - (マグロ漁場調査)	11
魚群調査 - (ヨコワ魚群探索調査)	12
魚群調査 - (奄美水産資源有効活用推進事業；クロマグロ幼魚資源調査)	13
魚群調査 - (日本周辺クロマグロ調査委託事業；パシヨウカジキ資源調査)	14
日本周辺クロマグロ調査委託事業	15
熱帯性まぐろ資源対策調査委託事業	16
浮魚資源調査(モジャコ調査)	17
底魚資源調査(マチ類標識放流技術試験)	18
奄美水産資源有効活用推進事業(底魚資源開発調査)	19
豊かな海づくりパイロット事業調査 - (マダイ)	20
豊かな海づくりパイロット事業調査 - (ヒラメ)	21
資源管理型漁業定着化事業(資源管理調査事業；マダコ)	22
漁場環境調査	23

【 漁 場 環 境 部 】

有害・有毒プランクトンモニタリング調査事業	24
赤潮発生ネットワーク強化支援事業	25
漁場環境監視指導事業	26
有害赤潮発生に関する生態学的研究	27
鹿児島海藻パーク造成事業	30
アマモ類分布実態・多様性解析調査	31

【 漁 場 環 境 部 】 (つ づ き)

奄美水産資源有効活用推進事業(南方系ガラモ場造成試験).....	32
漁場環境保全対策研究.....	34
有害物質漁業影響調査.....	35
川内原子力発電所温排水影響調査.....	36
漁場保全対策推進事業.....	37
内水面有用種増殖生態調査.....	38
シラヒゲウニ放流技術開発調査.....	39
奄美水産資源有効活用推進事業(ヤコウガイ放流技術開発).....	40

【 安 全 食 品 部 】

水産加工技術開発支援事業.....	41
加工残滓天然調味料実用化試験.....	42
環境汚染低減化飼料開発試験.....	43
安心・安全な養殖魚生産技術開発事業.....	44
魚病総合対策事業 - (養殖衛生管理体制整備事業).....	45
魚病総合対策事業 - (新型疾病対策事業).....	46
魚病総合対策事業 - (養殖衛生管理技術開発研究).....	47
内水面魚病総合対策事業.....	48
資源管理促進調査事業(鮮度保持技術試験).....	49

【 種 苗 開 発 部 】

カンパチ種苗量産化技術開発試験.....	50
種苗量産化技術高度化事業.....	51
内水面種苗生産技術開発研究(フナ).....	52
内水面種苗生産技術開発研究(モクズガニ).....	53
内水面種苗生産技術開発研究(サバヒー).....	55
奄美水産資源有効活用推進事業(スジアラ).....	56
奄美水産資源有効活用推進事業(ヤコウガイ種苗生産).....	58
シラヒゲウニ放流技術開発調査(種苗生産・供給).....	60

庶務一般

事務機構及び職種別人員（平成17年度）

（平成17年4月1日現在）

機 構	職 種												非 常 勤 職 員	合 計	
	行 政 職					技 術 職									
	部 長	主任 専門 技術 員	主幹 兼 係長	主 査	主 事	研 究 職					海 事 職	現業職			
						所 長	副 所 長	部 長	主任 研究 員	研 究 員		技 術 補 佐 員			
所 長						1									1
副 所 長							1								1
庶 務 部	1		1	1	1										4
企画研修部		2(1)						(1)	1					1	4
資源管理部								1	4	2	2 6				3 3
漁場環境部								1	3	2					6
安全食品部								1	3	1				1	6
種苗開発部								1	3	1		4			9
合 計	1	2	1	1	1	1	1	4	1 4	6	2 6	4	2	6 4	
対前年増減									- 2	1		- 2		- 3	

注) 表中の()内は兼務職。

職員の職・氏名(平成17年度)

平成17年4月1日現在

部 名	職 名	氏 名
	場 長 副 場 長	古賀 吾一 清水 則和 (企画研修部長兼務)
庶 務 部	部 長 主 幹 主 査 主 事	前迫 五男 福満 俊明 (総務係長兼務) 森 親幸 跡上 理恵
企 画 研 修 部	部 長 主任専門技術員 主任 研究員 企画研修指導員	清水 則和 万田 芳太郎 今村 昭則 江夏 竜郎 永里 敏久
資 源 管 理 部	部 長 主任 研究員 研 究 員	佐野 悦郎 田中 耕治 石田 博文 森永 法政 久保 満 加治屋 大 榊 純一郎
調査船おおすみ	船 長 漁 労 長 機 関 長 技 術 主 査 航 海 士 通 信 士 船 舶 士	丸儀 敏之 中村 一男 前畑 和人 崎口 勇男 宿里 幸郎 岩元 文敏 北山 大吾 玉寄 将 長井 智之

部 名		職 名	氏 名
資 源 管 理 部	調査船くろしお	船 長	今給黎 誠
		漁 労 長	杜 山 昇
		機 関 長	古 木 秀 治
		通 信 長	射 場 晴 典
		航 海 長	茶 屋 雅 彦
		一 等 機 関 士	中 村 力 久
		技 術 主 査	是 枝 次 男 富 永 満 洋 若 松 勝 久
		機 関 士	守 山 恵 一
		航 海 士	海 陸 和 人 川 崎 秀 一
		通 信 士	川 崎 太 山 賀 一 成 伊 藤 恒 平
船 舶 士	松 野 下 俊 作		
		中 村 眞 也	
漁 場 環 境 部		部 長	吉 田 賢 二
		主 任 研 究 員	上 野 剛 司 吉 満 敏 田 中 敏 博
		研 究 員	今 吉 雄 二 村 田 圭 助
安 全 食 品 部		部 長	新 谷 寛 治
		主 任 研 究 員	森 島 義 明 保 聖 子 平 江 多 績
		研 究 員	仁 部 玄 通
		研 究 業 務 補 助 員	小 島 史 郎
種 苗 開 発 部		部 長	中 村 章 彦
		主 任 研 究 員	外 園 博 人 西 広 海 中 野 正 明
		研 究 員	野 元 聡
		技 術 補 佐 員	松 原 中 神 野 芳 久 松 元 則 男
			池 田 祐 介

平成 17 年 度 事 業 一 覧

(決算額)

担当部名	事業名 / 事項名	事業費(円)	摘 要
庶 務 部	水産技術開発センター運営費	145,121,918	H 16 ~ , 県 単
	水産技術開発センター維持補修費	1,116,000	H 16 ~ , 県 単
企画研修部	試験研究企画調整事業	357,134	H 16 ~ , 県 単
	漁業情報提供事業	10,669,766	H 16 ~ , 県 単
資源管理部	船舶運営費	59,408,938	県 単
	漁海況予報事業	1,340,000	H 9 ~ , 国補・県単
	200カイリ水域内漁業資源総合調査	24,231,000	S 52 ~ , 特 定
	マグロ漁場調査	10,284,000	S 44 ~ , 県単・特定
	沿岸・近海漁業資源調査	3,865,404	S 62 ~ , 県 単
漁場環境部	赤潮総合対策調査事業	5,307,000	S 52 ~ , 国補・県単・国委
	鹿児島海藻パーク造成事業	5,336,000	H 16 ~ , 国補・特定
	漁場環境保全対策研究	278,000	S 57 ~ , 県 単
	有害物質漁業影響調査	1,173,000	S 48 ~ , 国 委
	温排水影響調査事業	5,806,100	S 56 ~ , 県 単
	内水面有用種増殖生態調査研究	360,000	H 16 ~ , 県 単
	シラヒゲウニ放流技術開発調査	2,516,000	H 17 ~ , 一部国庫
安全食品部	水産加工技術開発支援事業	1,494,300	H 16 ~ , 県 単
	加工残滓天然調味料実用化試験	582,000	H 14 ~ , 県 単
	環境汚染低減化飼料開発研究	2,310,000	H 14 ~ , 国 委
	安心・安全な養殖魚生産技術開発事業	779,000	H 16 ~ , 県 単
	魚病総合対策事業	3,224,000	S 59 ~ , 国補・県単・特定
	内水面魚病総合対策事業	567,000	S 61 ~ , 国 補
種苗開発部	カンパチ種苗量産化技術開発試験	4,490,550	H 16 ~ , 県 単
	種苗量産技術高度化事業	613,000	H 16 ~ , 県 単
	内水面種苗生産技術開発研究	531,000	H 16 ~ , 県 単

企画 研修 部

試験研究企画調整事業

江夏ほか企画研修部全員

目的

本県水産業の計画的・効果的な試験研究を推進するため、課題設定、進行管理、成果の普及など、総合的な企画調整を行う。

事業内容

- 1 試験研究ニーズ等の把握
- 2 試験研究の総合的な企画調整
- 3 試験研究の進行管理
- 4 研究成果の広報・普及
- 5 国内外の技術交流・研修の調整

平成17年度実績

1 試験研究ニーズ等の把握

- (1) 図書文献の収集整理(新着情報週 1 回)
- (2) ネット情報の収集整理(随時)
- (3) 現地応用講座によるニーズ把握(1 回)
- (4) 視察研修受入によるニーズ把握(随時)

2 試験研究の総合的な企画調整

- (1) 水産総合研究センターとの連携等
 ブロック別水産業試験研究推進会議
 西海区ブロック(西海区水研主催)
 中央ブロック(中央水研主催)
 共通分野別水産業試験研究推進会議
 水産利用(中央水研主催)
 内水面(中央水研主催)
- (2) 他県との連携等
 九州・山口水産試験場長会(年 2 回)
 企画分科会設置へ
 南西諸島栽培漁業技術連絡協議会
 開催地；鹿児島
 構成；沖縄県，鹿児島県，水研センター
 水産試験場の連携検討会議
 開催地；福岡(2 回)
 結果；藻場，アサリの分科会設置へ
- (3) 大学等との連携
 水産研究交流セミナー(H13～)
 開催地；鹿児島大学水産学部
 構成；鹿大水産学部，水技センター

共同研究

5 大学，14 課題

- (4) 関係部局の連携等
 県科学技術振興推進会議(企画部会 2 回)
 水技 焼酎粕有効利用(トコブシ飼料)
- (5) 水族館との連携
 交流会の開催(2 月，鹿児島)
 モクズガニ稚ガニの水族館展示

3 試験研究の進行管理

- (1) 業務検討会(4～5 月，各部)
- (2) 中間業務検討会(10 月，各部)

4 研究成果の広報・普及

- (1) 漁業情報システムの運用(別掲)
- (2) 漁業研修の推進(別掲)
- (3) 機関誌「うしお」の発行(年 4 回，250部)
- (4) 事業報告書の発行(400部)
- (5) 研究報告会(1 月，於；水技センター)
- (6) 研修視察等の受入(次項に記載)
- (7) 広報誌等への寄稿(0 件)
- (8) その他(記録しておくべき事項)
 特許等(3 件)
 意匠登録 1 件，特許出願 2 件
 授賞等(0 件)
 学位取得(0 件)

5 国内外の技術交流・研修の調整等

区 分	団体数	人 数
研修視察受入	111	2,670
海外研修生	8	57
インターンシップ	1	1
一般見学受入	74	210
合 計	185	2,880

年度別実績(来館者)

H16	H17
4,648	2,880

漁業情報提供事業

江夏，田中，森永，平江，村田

目 的

水産技術開発センターの試験研究の成果等を迅速に広報・普及するとともに，開発した漁業情報システムの円滑な運用を図る。

事業内容

- 1 漁業情報システムの円滑な運用
- 2 漁業情報の迅速な提供

平成17年度実績

1 漁業情報システムの円滑な運用

漁業情報システムの保守業務については，民間の専門業者に委託して実施した。

2 漁業情報の迅速な提供

(単位；件)

媒 体	H16	H17
Webサイト訪問数	79,341	129,656
人気サイト 人工衛星	95,218	154,948
赤 潮	77,960	114,849
フェリー	33,646	54,100
音声情報(浮魚礁)	4,933	6,325
F A X 情報(衛星等)	203	393
システム利用合計	84,477	136,374

漁業情報システムの概要

システム名	主な内容	ネット	電話	F A X	携帯
人工衛星	水温分布(画像)				
	水温分布(白黒)				
	加コイル(画像)				
	風向風速(画像)				
フェリー	水温・流向図				
	定点別水温				
	黒潮北縁域				
	海況速報図				
浮魚礁	水温				
	風向・風速				
漁海況	週報				
	長期予報				
	モジャコ情報				
	卵稚仔調査結果				
地理情報	海底地形図ほか				
漁船通信	地理情報等				
水揚・市況	水揚情報等				
赤 潮	地図でみる赤潮情報				
	赤潮調査結果				
	注意報・警報ほか				
魚 病	ワクチン申請				
	魚病診断				
	魚病情報				

漁業研修推進事業

今村ほか企画研修部全員

目的

漁業生産の担い手の確保・育成を図るため、新規着業者や中核的漁業者等の漁業研修を推進する。

研修体系

就業前の小中高生、新規就業者、中堅漁業者等を対象に研修会を実施した。

さらに、各地での現地応用講座等も実施した。

平成17年度実績

1 小中学生研修

区分	対象等	人数	日数
うみべの教室	今和泉小5年生 年間をとおして ワカメに関する体 験学習	18	5

2 高校生研修

区分	対象等	人数	日数
長島高校 (普通高校)	水技センターほか 水産一般	12	3
水産高校 (栽培工学コース)	水技センターほか 栽培漁業等	9	4
水産高校 (海洋技術コース)	水技センターほか 乗船体験等	9	3

3 漁業就業者研修

区分	対象等	人数	日数
漁船漁業コース	新規就業者	1	2
養殖漁業コース	新規就業者	2	3
女性漁業者コース	漁協女性部等	1	20
漁業経営コース	各種研修で実施	-	-
情報システムコース	各種研修で実施	-	-

4 現地応用講座

区分	対象等	人数	日数
調査研究報告等	根占地区	30	1

5 コンサルタント派遣事業

研修内容	実施場所	人数	日数
各地域における関係 課題	鹿児島湾	37	1
	南薩地区	35	1
	奄美大島	4	1

6 市町村水産担当職員研修

研修内容	実施場所	人数	日数
本県水産業の 振興施策	笠沙町	36	1

9 ザ・漁師塾(入門研修)

区分	実施場所	人数	日数
入門研修	鹿児島, 笠沙	13	2
短期研修	東町	10	5